

## 「手打小学校の手踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

薩摩川内市立手打小学校

### 2 学年・人数

手打小学校1～4年生（11名）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

【手打小学校1～4年生】

令和5年9月5日（火）、13日（水）、15日（金） 手打小学校運動場

#### (2) 発表の日時・場所

【手打小学校1～4年生】

令和5年9月23日（土） 手打小学校・校区合同秋季大運動会

令和5年11月11日（土） 学習発表会

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

#### (1) 名称

手踊り（ておどり）

#### (2) 由来

子岳地区の手踊りの由来ははっきりしないが、江戸時代から踊っていたと思われる。  
（下甕村郷土誌より）

#### (3) 構成等

構成員数は、踊り4名、太鼓1名、拍子木1名で構成される。ハンテンまたはハッピー、鉢巻、タスキ、博多帯、手甲足絆、足袋ワラジ、刀、扇子を身に着ける。口紅とおしろいで化粧する。

踊りの構成は、①出羽「太鼓と拍子木で踊る。」②中踊「刀を使って踊る。」③入羽「一人残って太鼓と拍子木でハ、ハ、ハ、ソラオイオイで終わる。」の順である。

### 5 保存会や地域との連携の具体策

手打小学校1～4年生には、伝承者が講師として来校し、毎年1～2時間程度指導していただいていた。近年では、高学年が低・中学年に教え、伝統をつないでいっている。体育やふるさと・コミュニケーション科の授業で練習を行っている。

### 6 文化財伝承・活用の取組で工夫した点

学校が伝承活動に協力できるようにするために、また連携しながら伝承していけるようにするために、毎年地区との合同運動会で披露するようにしている。さらに、伝承者による指導時間が限られているので、5・6年生が1～4年生に教えたり、4年生の児童がリーダーとなって、他の1～3年生の見本となって教えるようにした。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【手打小学校・校区合同秋季大運動会練習・発表】



【学習発表会での発表】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想や意見

### 【3年生児童】

練習を積み重ねて上手に踊れるようになりました。

### 【4年生児童】

腰を低くして踊ることがむずかしかったです。何度も練習するうちに、上手に踊ることができるようになりました。

### 【教職員】

高学年から中学年・低学年へと教えることで、伝統をつないでいくことができた。古くから伝わる伝統芸能のため、この踊りを絶やすことなく大切にしていきたい。

### 【保護者】

親から子へ、子から孫へ代々伝わっていく伝統芸能。今後も学校で踊る機会を絶やさず、つなげていってくれたらと思います。